

大阪府と連携懇談会（大阪府へ陳情）

日 時：令和3年9月3日（金）午後1時30分～2時15分

場 所：大阪府庁本館2階 議員応接室

大阪府側：小林宏行様（大阪府商工労働部長）、武矢幸信様（大阪府商工労働部 中小企業支援室長）、平 真一郎様（大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課 総括主査）

ご仲介役：前田洋輔様（大阪府議会議員 大阪維新の会 政務調査会長代理）

参加者：多田 修（大阪金属プレス工業会 代表理事）、林 秀昭（同 業務執行理事）、関 健一（同 総務・経営 副委員長）、佐々木徹也（同 総務・経営 副委員長）、平 光章（同 理事）、中西順也（同 事務局長） 工業会6名

取材報道：大川 藍（日刊工業新聞社 大阪支社 編集局経済部記者）

目 的：我々中小企業の金属プレス製造業は近年のコロナ禍で経営環境はより厳しさを増し、労働力不足、人材育成、技術継承、後継者問題等様々な問題に直面しています。更にSDGsやデジタル化などの新しい課題に対しても積極的に取り組んでいかねばなりません。生き残りを賭ける中小企業に対して大阪府のご支援をお願いしたく、今回陳情に上がりました。

陳情項目：1. 技能検定事業に対するご支援

重要事業と位置付けているが現状は赤字の事業であるため補助金等のご支援を

2. 「SDGs」と「DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に対するご支援
会員企業に取り組みを推進するためにも補助金の創設等のご支援を

3. 中小製造下請け事業者が使いやすい補助金及び助成金についてのお願い

「ものづくり補助金」や「事業再構築補助金」は採択のハードルが高く使いにくい、中小製造下請けに対し設備導入や構造転換など大阪府独自の補助金や助成金をお願い

4. 工業会財務の健全化と会員増強に対するご理解とご支援

大阪府独自の補助金制度の申請受付業務を弊会に委託して頂き、申請業務を通じて多くの事業者へ弊会の事業活動をアピールし、事務手数料という新たな収入を得る

5. 事業継承人材と技術人材の育成と確保に対するお願い

大阪府の訓練校や技術専門校に「金属プレス」や「金型」に関するコースを設けて、修了生を優先的に採用できる仕組みを作って頂きたい

6. イベントやセミナーへの協賛についてのお願い

大阪府の協賛を得ているということで各所から協力を得られ集客にも結び付けたい

7. 「産・官・学」連携についてのご指導及びご支援

アドバイスや取り次ぎ等のご協力をお願いしたい

8. 弊会のパブリシティ活用（PR活動）及びブランディング化に対するご支援

活動を世に知って頂きブランド価値を向上し会員の増強につなげたい

9. 大阪府との連携懇談会の継続的な開催のお願い

まず、はじめに当工業会の多田修代表理事の挨拶、続いて大阪府の小林宏行部長にご挨拶を頂き、限られた時間のため、早速今回の陳情項目、上記1～8について、多田代表理事から説明をして頂きました。これら陳情項目について、大阪府の見解、ご意見、討論の主な内容など下記に記します。

（順不同の部分もございます）

<補助金・助成金について>

・大阪府独自の補助金・助成金はきびしいが、個別の取り組みについてはお金以外の事、例えば関係機関と繋ぐことやMOBIOで事業についての相談を受けることは出来る。

・大阪府は昔から財政は豊かではない。橋下知事で降補助金をまくことはせず保全事業や環境整備に使っている。お金のかからない後援や協賛などは可能です。

（工業会から）

・国の補助金は採択が難しい。コンサルに委託して補助金を頂いたが、コンサル料に15～20%取られる。大阪府からも申請の支援して頂いてハードルを下げて頂きたい。

<技能検定について>

- 技能検定は国と大阪府から補助金が出ているはずだが、赤字の要因は何でしょうか、技能検定事業は商工労働部内ではあるが別部署なので情報を共有しておきます。

<DX（デジタルトランスフォーメーション）について>

- DX は大阪産業局でも力を入れており今年は事業を興しています。「大阪 DX 推進プロジェクト」課題は取り組む企業がどこまで本気なのか、気持ちが先走っているところがあるが、相談に乗って取り組んでいるところです。

（工業会から）

- 大阪産業創造館などで DX セミナーを何度か受講したが、講師の話は的を射ていない。大企業出身の方が眠たい声で話をされて退屈であった。

<人材について>

- 人材の確保は重要課題と理解しています。大阪府立の技専校（高等職業技術専門校）では入学希望者が少ないが卒業者は100%就職しています。ただしものづくり分野は人気がなく、デジタルデザイナーのような分野に人気が集中する。どうすればものづくりに目を向けて頂けるか広報にも力を入れている。例えば企業の方に来て頂いて学生にもものづくりの説明をする機会を作るなど、企業と連携して進めていければよいと思っているので課題としたい。

（工業会から）

- 金型をつくる産業が置き去りにされている。機械加工や溶接のコースはあるが金型を学ぶ機会を作って頂きたい。
- 中小企業では若い人材の採用に苦慮している。せっかく入社頂いても現場経験は出来るが知識・技術教育的なことは、むしろ技専校へ送って教育して頂きたいが、しかしプレス機械は大阪府の工業高校や技専校などにどこにも置いてないのが現状です。

意見交換など貴重なお話は尽きませんが、お忙しい中の限られた約45分間の懇談会を終了致しました。貴重なお時間を頂いて有難うございました。当工業会の抱えている課題などをご理解いただき大変有意義な意見交換、懇談会が出来ました。今後も継続して大阪府との懇談を続けて連携を取りながら事業の推進を進めたい所存です。

最後になりますが、今回のこのような貴重な懇談会は、平光章理事のご紹介により大阪府議会議員の前田洋輔先生にご仲介とご尽力を頂きました。有難うございました、感謝申し上げます。



（懇談の様子 多田代表理事のご挨拶）



会員の皆様には、大阪府に対してのご意見、ご要望、感想などございましたら事務局へご連絡下さい。

大阪府以外の事でも構いません。よろしくお願い致します。